

TGCI® Standard Model

Global Expatriate Cost Assessment Framework

トライアドコンサルツ®

2026年8月29

1. 目的

TGCI® (Triad Global City Index)は、海外赴任者の生活コストを客観的かつ継続的に評価するための標準モデルです。

本モデルは、

- 海外赴任者生計費算定
- 海外赴任手当設計
- 赴任地間比較
- 赴任コスト予算策定
- 海外勤務規程見直し

に利用することを目的としています。

2. 基本原則

原則 1 客観性

指数は事前に定義した計算式により算出します。個別事情を理由として指数値を恣意的には修正しません。

原則 2 再現性

同一データを使用した場合、同一の結果が得られます。誰が計算しても同じ結果となることを重視します。

原則 3 継続性

毎月同一手法で計測を行います。長期時系列比較を可能とします。

原則 4 説明可能性

人事部門が会社経営者や従業員に説明できることを重視します (Accountability)。ブラックボックス型手法は採用しません。

3. 基準都市

東京を 100 とします。すべての都市は東京との比較により評価します。

例

- 東京 100
 - ニューヨーク 175
 - ロンドン 155
 - シンガポール 145
-

4. データソース

生計費データおよびその他補完データは当社が判断した外部フリーソースを使用します。

食費、交通費、光熱費等の基本生計費を統合し算出します。住居費と子女教育費は基本生計費には入れていません。

5. 利用方法

TGCI®は給与額を決定するものではありません。TGCI®は生計費コスト差異を示す指数としています。お客様側ではTGCI®を参考に、

- 海外勤務手当
- 生計費調整額
- 地域手当

等を算出し、設定することが出来ます。

6. 下落局面への対応

TGCI®は経済データなので、当然変動します。しかし、上昇時・下落時とも市場実態をそのまま反映させるためそのまま利用し、指数値は恣意的に修正しません。

ただし企業は制度運営上、TGCI® Downside Protection Model を利用できるようにしており、下方変動時の緩衝モデルを提供します（オプションにてご提供）。

7. Downside Protection Model

指数低下を給与体系へ反映すると、処遇の減額につながる場合があります。しかし、急激な減額は、労働契約法上の不利益変更に関するリスクを伴う可能性があります。トライアドコンサルツでは、急激な指数変動に対してプロテクション措置を準備します。

目的

- 制度の安定性確保

- 海外赴任者とその家族の生活の安定を支援
- 労働契約法上の不利益変更リスクを低減

企業は保護期間および保護水準を自由に設定できるような、金融工学の発想を利用した、柔軟なプロテクションです。

8. TGCI® の位置付け

TGCI® は、海外生活者のコストの国際比較を行うための標準モデルです。

指数の客観性と人事制度の柔軟性を両立することを目指しています。

TGCI® は海外赴任者生計費評価の標準モデルとして、客観性・再現性・継続性・説明可能性を重視して設計されています。

詳細は下記までお問い合わせください。

メール連絡先 ; triad.consults@outlook.jp